

各 位

実行委員会検討報告

皆様におかれましては既にご承知の通り、月曜連盟開放事業については危惧すべき状況となっております。

このため連盟ではこれまでに各クラブ代表を通じ月曜開放へのご意見ご要望を伺い、その上でクラブ代表との座談会を実施し、月曜開放の今後の継続を決めていただくとともに、実行委員会を立ち上げ対応策についての検討をすることも決めていただきました。

このたび実行委員会では、検討を重ねた結果を取りまとめ、下記の内容を連盟理事会に報告し試行運用の了承を受けましたのでここにご報告いたします。

記

- 1、月曜連盟開放は継続実施する。
- 2、赤字運営からの脱却を目指す。
以下は赤字運営からの脱却に向けて具体案になります。
- 3、従来の4時間制から2時間2区分制にする。
(13:30から15:30 15:30から17:30)
- 4、利用者の要望に合わせて2コース制にする。
 - イ、ゲームコース(技術向上志向)
 - ロ、和気あいあいコース(娯楽・体力維持志向)
- 5、4面コートはコースに合わせ原則2対2の区分とするが、利用状況に応じ都度対応する。
- 6、開放委員を配置する。
 - イ、開放委員は和気あいあいコースの参加者レベルに応じ、プレーを補助しラリーの継続と併せパドルの楽しみ方を提供する。
 - ロ、4面コートの利用区分について協力を要請する。
 - ハ、当面は実行委員会が開放委員を兼務する。
 - 二、開放委員の担当日は利用料金を免除とし、ボランティア活動とする。
- 7、利用料金は1区分250円とし、2区分通しは450円とする。
- 8、発行済み回数券はこれまで通り4時間利用とする。
発行は1月までとし、その後の発行は4月以降とする。
- 9、試行期間を令和5年3月までとする。
- 10、試行期間を経て総会に最終報告をする。

令和4年12月10日 実行委員会代表 渡部孝子
皆様のお越しをお待ちいたしております。